

【リハビリテーション資格のご紹介】

○理学療法士とは

理学療法士はケガや病気などで身体に障がいのある方や障がいの発生が予測される人に対して、基本動作能力（座る、立つ、歩くなど）の回復や維持、および障がいの悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法（温熱、電気等の物理的手段を治療目的に利用するもの）などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。

理学療法士は国家資格であり、免許を持った人でなければ名乗ることができません。理学療法士は主に病院、クリニック、介護保険関連施設等で働いています。中には専門性を生かし、プロスポーツチームに属している理学療法士もいます。

○作業療法士とは

作業療法士とは身体または精神に障がいのある方、病気やケガなどで身体が動かしにくくなったり、精神的に落ち込んだりした方に対して、作業活動を通じて、日常生活の動作で困らないようサポートしていきます。

歩く、座る、動かすなどの基本的な身体サポートをする理学療法士に対し、作業療法士は日常を生きるための動作を促し、精神面でサポートします。日常生活動作である食事、料理、掃除等や余暇活動としてのレクリエーション（遊び、スポーツ）や創作活動（ゲーム、体操、編み物、陶芸、絵画、音楽など）をリハビリの対象としており、快適に自分らしく生きていけるようサポートします。

作業療法士も理学療法士と同様に国家資格であり、免許を持った人でなければ名乗ることができません。主に病院、クリニック、介護保険関連施設等で働いています。

○言語聴覚士とは

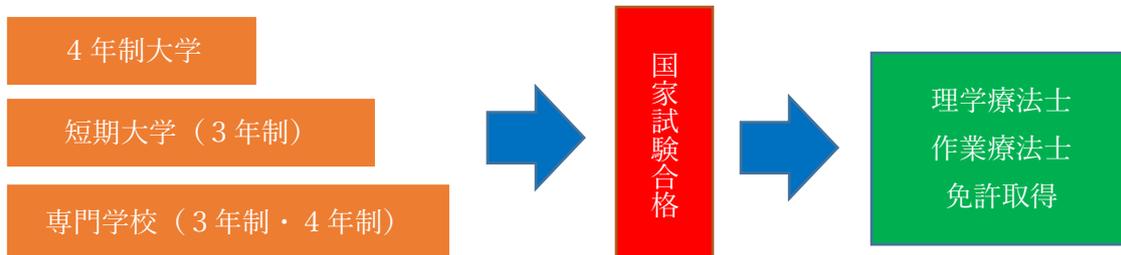
言語聴覚士とは言葉によるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

言葉によるコミュニケーションの問題は脳卒中後の失語症、聴覚障害、言葉の発達の遅れ、声や発音の障害など多岐にわたり、子供から高齢者まで幅広く現れます。言語聴覚士はこのような問題に対し、検査・評価を実施し必要に応じて練習、指導、助言、そのほかの援助を行います。

言語聴覚士も理学療法士・作業療法士と同様に国家資格であり、免許を持った人でなければ名乗ることができません。言語聴覚士は医療機関、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で働いています。

○理学療法士・作業療法士になるには

理学療法学科・作業療法学科のある養成校へ入学



○言語聴覚士になるには

理学療法士・作業療法士と同様の養成校入学

一般の4年制大学卒業後、大学・大学院の専攻科・専修学校入学

